

# 三年で関東大会出場!! 女子ソフトボールチーム スフィード

三年前、矢板市に創部した一般女子ソフトボールチーム「スフィード（イタリア語で挑戦の意味）」は、今年の夏の大会で、見事、関東大会への出場権を獲得しました。

今回は、チームの代表を務める中澤紀雄さんにお話を伺いました。



●関東大会出場が決まったときの感想は？

「うれしい」の一言です。今回、初めて県への出場登録をし、予選大会の試合に出場しました。この大会は全国大会、関東大会出場をかけた予選大会です。

三位決定戦で那須塩原市のチームに勝利し、十月六日に茨城県古河市で開催される関東レディーズ大会に代表として出場します。

●どのような練習をしていますか？

月二回程度、市内のグラウンドでバッテリーやノックなどの練習をしています。年に数回は市外のチームや

●チームの特徴は？

試合には勝ちたいけれど勝負にこだわらないという雰囲気があります。現在、十九歳から二十歳までの十二人で活動しており、年齢は違いますが、毎回楽しく練習をしています。

これからの共通の趣味であるソフトボールを通して出会えた仲間たちと、チームの絆を深めていきたいと思っています。



●チームの課題は？

仕事や家庭の都合が合わず、そろって練習ができないことが課題です。また、もう少しメンバーを増やしたいという思いもあります。

●監督が期待していることは？

三年間で成長できたことを心よりうれしく思います。これを機に市の代表として一人ひとりが日々精進し、優勝ができるよう、より一層練習に励んでいきたいと思っています。

# 目指すは全国大会ベスト16!! 矢板中央高等学校 女子バスケットボール部

創部十年目にしてインターハイ初出場を成し遂げ、次の目標である「高校バスケットボールの甲子園」とも呼ばれる全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会（通称ウインターカップ）に意欲を燃やす、監督の長田美華先生（右）と部長の小林理奈さん（三年生・左）にお話を伺いました。



●現在の道のりは？

現在の部員数は三十人です。創部一年目は八人、二年目は八人、三年目は十二人と、三年連続で出場を果たしました。創部六年目で県大会ベスト4、そして今年、優勝し、インターハイに出場することができました。

●普段の練習は？

二面ある体育館の一面を占有し、練習ができています。環境は恵まれているため、他校では使用場所が取れず交替で練習しているところも

●今後の目標は？

十二月末に開催されるウインターカップに出場してベスト16になることを目指しています。予選で優勝することです。監督からは試合の時に「応援されるチームにならない」という緊張感を持って練習を信じているので、高校最後の大会に「命懸け」で挑みたいと思っています。

●先輩に伝えたいことは？

十年前の先輩から引き継いでいる「命懸けのプレーをする」という



（記者の感想）

「笑顔をハツラツとした笑顔が、体育館には横断幕と「命懸け」のポスターが掲げられていて、私も千鳥の目からエールを送りたいと思います。」

（M・W）